

令和6年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立館山さざなみ学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・動画教材や調べ学習等を活用しながら授業を行ったことで、児童に興味関心をもたせ、楽しみながら学習させることができた。
- ・日常生活の物事や事象と結びつけたり、話し合い活動をしたりして思考が深まった。

(2) 課題

- ・授業の中では意欲が高まり、進んで活動する姿は見られたが、そこで得た知識や技能がテストや他の場面で活用されることが少ない。
- ・特に、地域や市等の身の回りの工業や産業について、地図や写真、グラフの読み取りと知識の活用に課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	全体的に目標値を下回っている。		
第5学年	全体的に目標値に達している。	全体的に目標値を下回っている。(第4学年時)	
第6学年	全体的に目標値を下回っている。	全体的に目標値を下回っている。(第5学年時)	全体的に目標値を下回っている。(4年生時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・「地域や市の様子」では、地図の記号や、土地の高低の読み取りに課題がある。 ・「生産や販売」では、グラフや資料からの読み取りができていない。	・全体的に、グラフや資料から読み取ったことを自分の言葉でまとめて書くことに課題がある。資料から読み取ったことを言語化することが難しい。	・校内平均正答率が目標値より下回っている。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・「自然災害を支える活動」では資料の読み取りができていない。 ・「産業と情報の関わり」では得た知識を活用して問題を解くことに課題がある。	・5年生は概ね目標値に近く、資料の読み取りができていない。 ・6年生は資料から正しく情報を読み取り、考えることに課題がある。	・目標値を下回っている項目が多い。 ・基礎的な知識の定着と資料の読み取りに課題がある児童が多い。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・知識の定着のために、地図帳や写真等の資料を用いる。また、適宜確認テストを行う。 ・ICT やタブレット端末を用いて資料に触れる機会を増やす。	・資料から読み取る視点を具体的に示して読み取る機会を増やす。	・身の回りの物や出来事、事象に関連付けて授業の導入を工夫したり、多くの資料を活用したりして児童の意欲が高まるようにする。

（2）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・授業の初めに前時の振り返りを行ったり、授業の終わりに本時の振り返りを行ったりするなどして知識の定着を図る。 ・情報を収集する場所や方法を示し、情報の収集の仕方を学ぶ経験を多くする。	・精選した資料の読み取る視点を明確にし、資料の読み取りを繰り返し行う。 ・社会的事象に対して学習したことをもとに自分の考えを表現する時間を確保する。	・産業や工業、歴史や政治が自分たちの生活とつながりがあることに気付かせるような指導を行う。